

## — 日比 NGO ネットワーク報告 —

45号で発足をお伝えした日比 NGO ネットワークは、まだまだ参加団体は少ないものの、徐々にその活動を広げています。日本側は7月30日、10月18日と会議を開催しました。7月は集計中の各 NGO へのアンケートについてや、そのアンケートのケーススタディとして何団体かから聞き取り調査を行いたい旨(HANDS も選ばれました)が伝えられました。これを受け9月7日にマニラで九島が、同じく9月21日にはHANDS 事務局で山崎が、日比 NGO ネットワークの日本側コーディネーター小淵さんからインタビューを受けました。また HANDS のパートナーである PFP と COWHED もインタビューを受けています。

マニラ側の調査・研究は ANGOC というアジアの農民のための NGO の連盟事務所で行われています。事務所を訪問し、ファイナさんというアジア・コミュニティ・トラスト(略称 ACT。本部は東京)職員とじっくり話し合うことができました。HANDS の成り立ちやその活動に、非常に興味を持たれたようです。

このアンケートとケーススタディをまとめた調査研究書は11月の発刊(英語)となる予定です。

10月の会議では、11月にマニラで開催予定のシンポジウムとフェアについて説明がありました。場所はタギック市の「マーケット! マーケット!」という新しいショッピングモールの2階を無料で借りられることになったそうです。フィリピン企業の社会貢献をする姿勢を知ると、日本社会ももう少し変わって欲しいなあと思います。またマニラ側が力を入れて準備していることがひしひしと伝わってきました。HANDS からはシンポジウムに何名か参加予定です。フェアには、マニラに事務所がある日本の NGO がいくつか出展されます。それらの活動を学んできたいと思います。次号でその様子をお伝えします。

## 秋のイベント報告

中学生助っ人と民族ダンスで盛り上がりました

— 9月30日・10月1日/日比谷フェスタ —

日比谷公園で開催されたグローバルフェスタ

JAPAN2006 に今年も医療衛生部門(レッドエリア)で参加しました。一日目はボランティアの皆さんの息子さんたち(中学2年生)が手伝って下さって、ブースの中の平均年齢が一気に若返りました。

二日目は、8月に現地で特訓を受けた石井さん(P6参照)のビラードダンスと、カセットから流れるクリントンのリズムが来場者の流れを引き寄せてくれました。

フェスタ参加は現地製品の販売だけでなく、ミンダナオの現状を伝えて、私たちに何ができるかみんなで考える貴重な機会です。パネル報告に関する質問もたくさんいただいて手ごたえを感じたフェスタでした。



日比谷フェスタ初日ボランティア(HANDS ブース前で)

三つの教会バザーにも参加しました

10月には、カトリック横浜教区の菊名、山手、藤が丘教会のバザーにも参加させていただき、よりよい製品のための助言もいただきました。これらの貴重なご意見は早速現地 COWHED にフィードバックさせていただきました。

COWHED もがんばります!



レイクセブの事務所前の組合員

COWHED への HANDS の支援は、マニラなどの大口注文に即対応するための材料費やスタッフ手当に使われています。組合として機能を回復するまでのサポートです。